# 令和４年度　うさみの園居宅介護支援事業所
# 事業報告書

## ◎事業運営の概況

・　本年度も多職種連携を意識し、行政や地域包括支援センター、医療機関、各事業所などとの情報共有に努めた。
・　外部研修などにも引き続きリモートでの参加を行い、事業所間での情報共有に努めた。

## ◎事業計画実施状況

1．ケアマネジメントの質の向上

・令和4年度も新型コロナ感染症の影響で現地での研修には参加できなかったが、リモート研修や動画視聴など参加できる研修には積極的に参加した。

・困難事例ケースについては、週一回の居宅会議内や職員間で時間を作り、事例検討会を実施し、問題の明確化や対応方法などの検討を随時行い、情報の共有を図った。また、必要に応じて地域包括支援センターにも報告、地域ケア会議に参加し地域課題の抽出も図り、地域全体の介護支援専門員の質の向上に努めた。

2．医療機関、地域包括支援センター等各関連機関との連携

・困難事例等を通し地域包括支援センターと協力し地域の中の課題を抽出し、課題解決に向け関係機関とさらなる連携強化に努めた。

・入、退院時必要な情報を医療機関と共有し、利用者がご自宅に安心して戻られるよう、適切なサービスの調整に繋げた。

・宇佐美圏域内にある他居宅事業所と合同で研修会を企画、開催。地域課題の解決に向け意見交換行い、行政に提案した。

・伊東市医師会や歯科医師会、薬剤師会等合同で看取りについての勉強会にリモートで参加。顔の見える関係性作りに努めた。

3．事業所の収入安定

・令和４年４月から７月までは前年度と同じく、3 名の介護支援専門員で特定事業

所加算Ⅲの算定であったが、7 月に新しく 1 名介護支援専門員が増え、9 月から特定事業所加算Ⅱを算定した。令和 3 年度に比べ全体的な件数としては増えてはいるが、令和 5 年 3 月末に 1 名退職者が出てしまった。

4. コンプライアンス意識の向上

・運営基準に基づき適切なケアマネジメント、請求業務を実施した。また、法令及び介護支援専門員倫理綱領を遵守し、サービスの提供を行った。

・厚生労働省からの介護保険最新情報や県、市からの情報収集に努め、制度について理解を深めた。